

農林大学校の動き(R3年12月)

2022. 1. 25

島根県立農林大学校（担当：教務 三宅）

TEL:0854-85-7012 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

◇◇農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します◇◇

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、できることを取り組んでいます。



○「情報処理 I」で発表会を行う(12/8、9)

農業科1年生が、「情報処理 I」で学んだパソコン技術を生かして、PowerPointを使った自己紹介を発表した。入学前の経歴、趣味や特技などを自由に発表し、普段の学校生活では知ることのできない一面を知る良い機会となった。



○日本農業技術検定に挑戦(12/11)

日頃の研修や学習活動の中で、学んできた知識や技術の習得度を確認するため、農業科の学生10名が受験し、2級4名、3級1名が合格した。

○農業科1年生が普通救命講習を受講(12/14)

大田消防署から講師2名を迎え、人工呼吸の仕方やAEDの使用方法等について学んだ。



○全校集会、人権研修・年金セミナーを開催(12/17)

冬期休業前の全校集会を大田本校と飯南キャンパスでリモート形式で行い、農業科と林業科の学生が参加。集会終了後、島根大学から講師を迎えて人権研修を開催。午後からは、出雲年金事務所の担当者を講師に迎え、公的年金の仕組みや制度の内容、20歳になった時の手続き等を学んだ。



チェンソー・シミュレーター (VR)

○肉用牛専攻で畜魂祭を執り行う(12/17)

農業科肉用牛専攻で、毎年恒例の「畜魂祭」を開催。畜魂祭とは、本専攻で飼育した家畜に対し感謝の意を捧げるもので、教員・学生約20名が出席。専攻敷地内に建立された畜魂碑に、農業科花き専攻で栽培された献花を供え、1分間の黙禱を行った。

○林業科に新実習機器の導入

学習環境を充実させるため、飯南キャンパス林業科では新たな実習機器の導入を進めている。12月はチェンソー・シミュレーター(VR)4台、空撮用ドローン1台、デジタルレーザーコンパス2台を導入し、実習での使用を開始。今後、伐倒練習機3台や森林3次元計測システム2台などを順次導入する。

・。*皆様のご意見、ご感想をお待ちしております！*。・